
株式会社 **プロシップ**

(証券コード：3763)

2017年3月期
第2四半期
決算説明会

2016年11月25日

会社概要

社名	株式会社プロシップ 東証2部：3763
設立	1969年4月
資本金	431百万円
代表取締役	会長 鈴木勝喜 社長 川久保真由美
従業員数	181名(連結188名)
事業内容	パッケージシステム開発販売 受託開発 運用管理
グループ企業	プロシップフロンティア プロシップ大連 プロシップ上海

沿革	
1969年4月	システムコンサルを主要業務として、資本金150万円にて設立
1978年6月	会計システムパッケージ『ASPAC- I』を開発・販売
1980年3月	総合固定資産管理システムパッケージ『FASPAC- I』を開発・販売
1994年7月	総合情報システム『ProPlusシリーズ』を開発・販売
2005年3月	ジャスダック証券取引所(現JASDAQ市場)に上場
2005年4月	中国大連市にプロシップ大連設立
2006年5月	株式会社プロシップフロンティア設立(日本バイナル社より営業譲渡)
2011年4月	受託・運用管理等事業を子会社(株)プロシップフロンティアに事業譲渡
2012年4月	ProPlusグローバル対応 本格展開開始
2013年4月	中国上海市にプロシップ上海設立
2013年8月	現物管理ソリューション『ProPlus Pit』開発・販売
2013年10月	賃貸借契約管理システムパッケージの新ソリューションを開発・販売
2015年1月	ProPlus導入社数4,000社達成
2015年6月	『ProPlus保守管理システム』を開発・販売
2016年4月	新バージョン『ProPlus固定資産システムVer6.0』を開発・販売
2016年10月	東京証券取引所 市場第二部に市場変更

東京証券取引所市場第二部へ市場変更

平成28年10月12日に東京証券取引所市場第二部へ市場変更を致しました。
「Speciality for Customer」の基本理念のもと、市場の期待を超えるべく、
さらなる企業価値向上に取り組んでまいります。



ProPlusシリーズラインナップ

固定資産管理ソリューション

固定資産システム

建設仮勘定サブシステム

リース資産管理システム

棚卸サブシステム

設備発注システム

現物管理ソリューション

ProPlus Pit

賃貸借契約管理ソリューション

賃貸借契約管理システム

マイナンバー管理システム

新バージョン

2016年4月リリース完了



販売管理ソリューション

販売管理システム

仕入管理システム

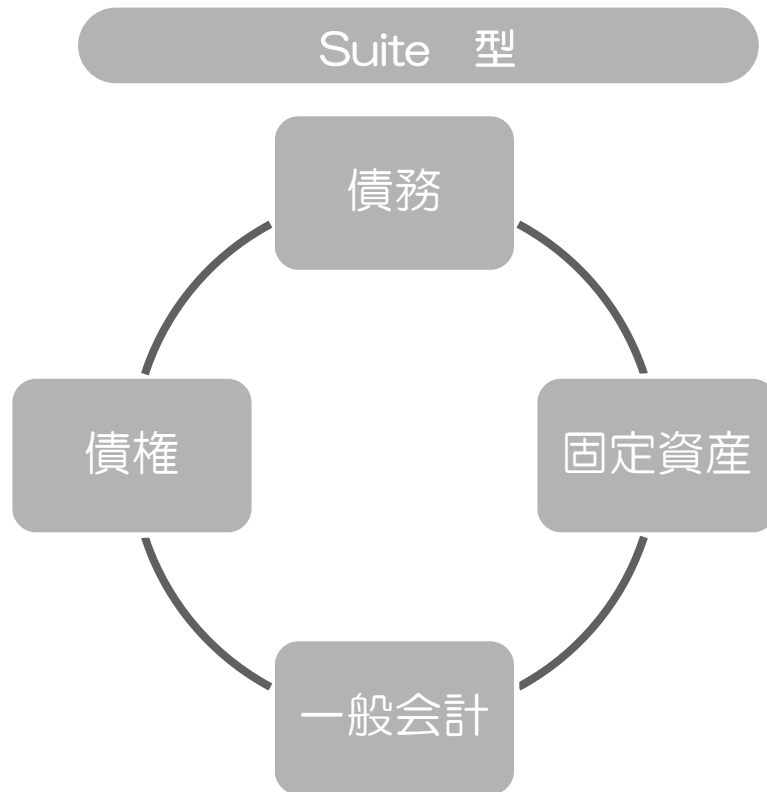
在庫管理システム

保守管理システム

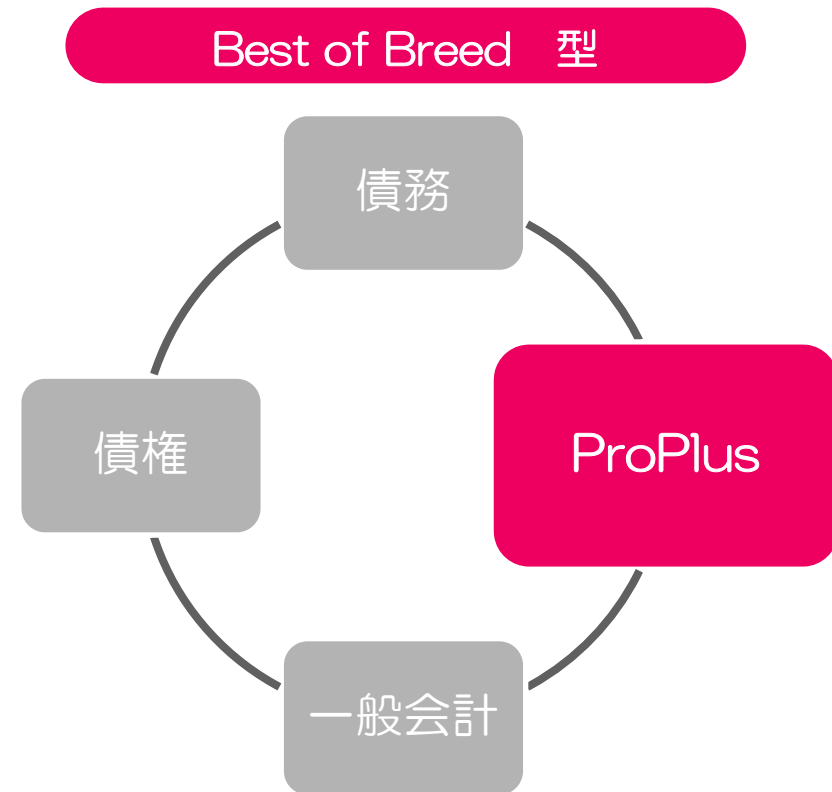
購買管理システム

貯蔵品管理システム

“Best of Breed” で価値を訴求



「Suite型」
同一ベンダ製品による統合製品



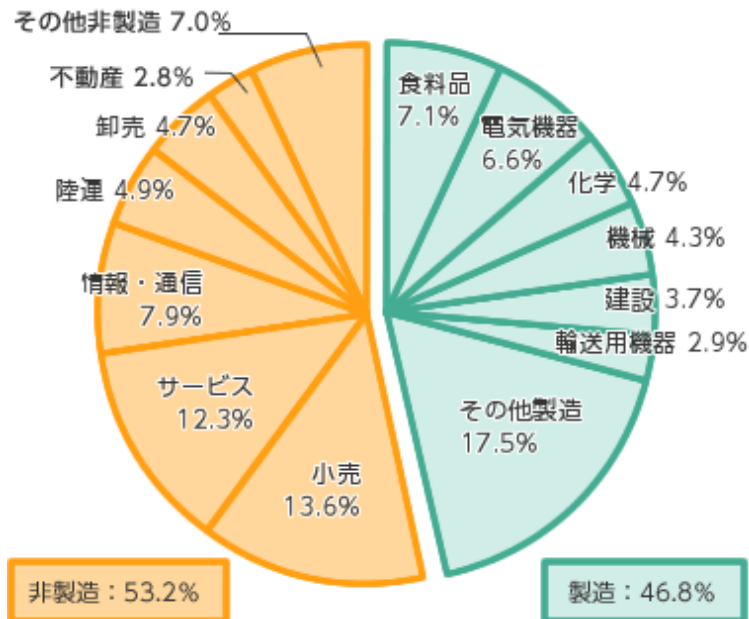
「Best of Breed」
各分野の最良の製品の組み合わせ

ProPlusシリーズの導入実績

ProPlusは上場企業を中心に、あらゆる業種、業態、規模の企業に幅広く導入されています。

ProPlusシリーズ 4,248社導入 (2016年9月30日現在)

【ProPlusの顧客業種】



※証券取引所の定める新業種区分（33業種）

全ての企業に導入を頂いております。

業種	売上高ランキング におけるProPlus導入社数
食品業	上位20社中 11社
繊維製品	上位20社中 12社
化学	上位20社中 10社
小売業	上位20社中 11社
建設業	上位20社中 9社
鉄鋼	上位20社中 8社
情報通信業	上位20社中 8社
陸運業	上位16社中 7社
倉庫・運輸関連業	上位10社中 5社
不動産業	上位10社中 5社
電気機器	上位10社中 4社
精密機器	上位10社中 5社
非鉄金属	上位10社中 5社
ガラス・土石製品	上位5社中 2社
海運業	上位 5社中 3社
水産・農林業	上位 5社中 2社

優良顧客基盤を活かしたアプローチ

中堅、大手市場企業をメインターゲットに営業展開



全業種のリーディング企業に導入



I 2017年3月期 第2四半期連結業績

II 2017年3月期 通期連結業績予想

2017年3月期 第2四半期 決算ハイライト

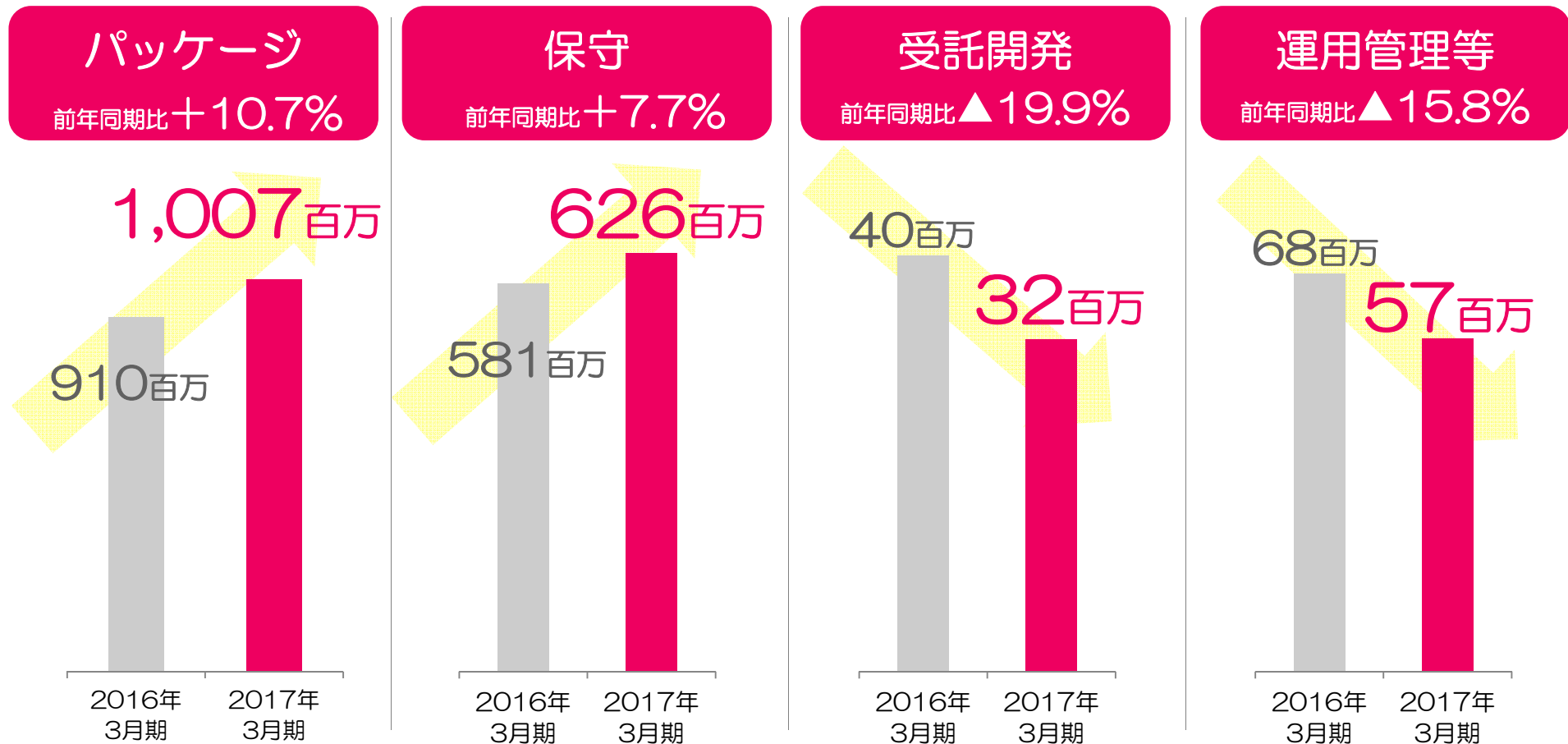
企業のIFRS（国際会計基準）対応の動き等から、受注が好調となり、

対前年同期比 売上高 **7.7%増収**、経常利益 **7.2%増益**

	2016年3月期 第2四半期	2017年3月期 第2四半期	前年同期比 増減率
売上高	1,601百万円	1,724百万円	7.7%
営業利益	472百万円	493百万円	4.6%
経常利益	474百万円	508百万円	7.2%
経常利益率	29.6%	29.4%	—
親会社株主に帰属 する当期純利益	309百万円	346百万円	12.0%

品目別売上高 前年同期比較(第2四半期)

- 「パッケージ」は、企業のIFRS（国際会計基準）対応等の動きから増収
- 「保守」は新規ユーザの増加、保守料の単価アップから増収
- 「受託開発」、「運用管理等」は顧客の予算動向の影響から減収



品目別受注実績 前年同期比較(第2四半期)

企業のIFRS（国際会計基準）対応の動きや、グローバルでの経営管理統一、業務効率化等を契機としたシステム刷新の動きが拡大し、

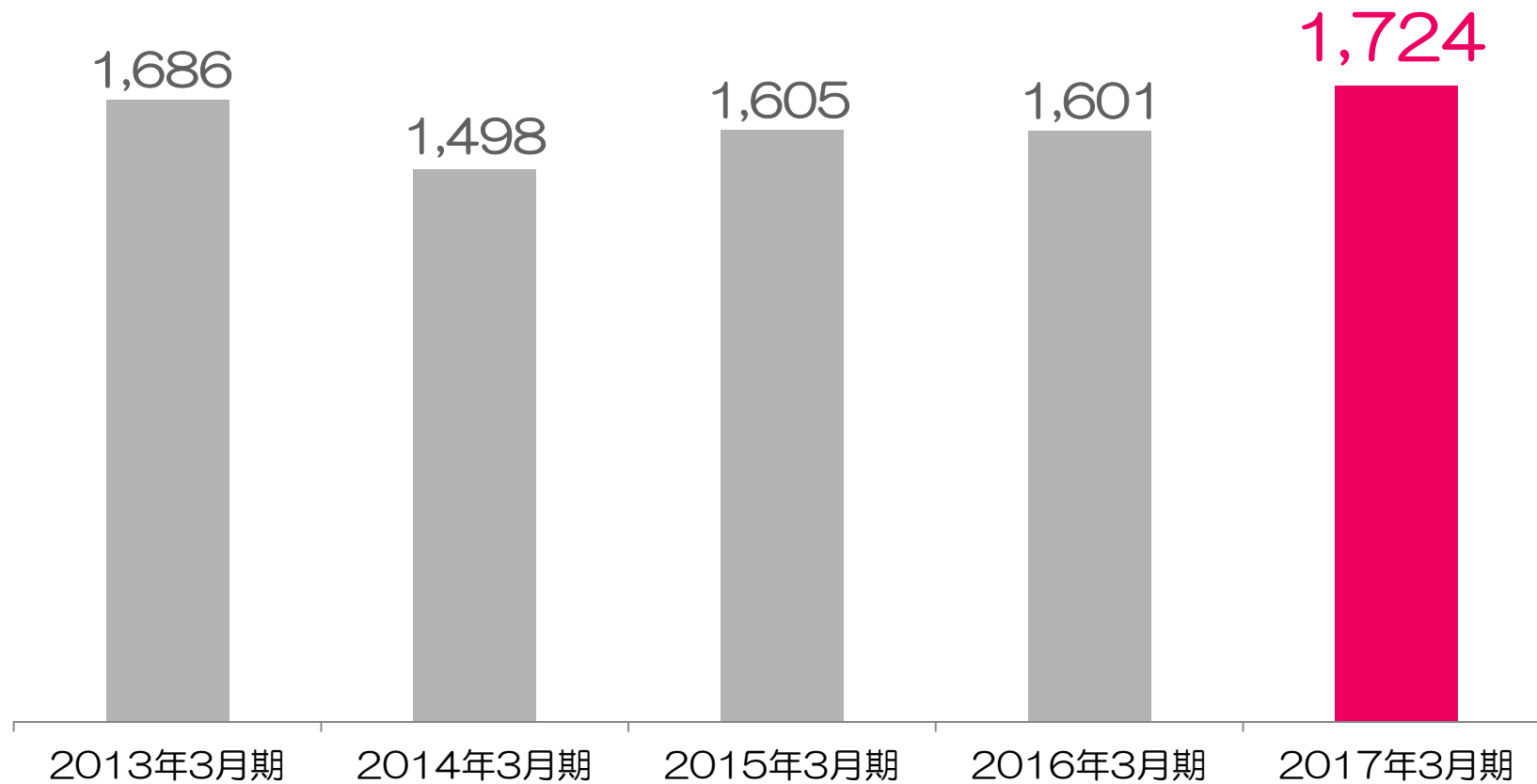
対前年同期比 受注高**40.2%増**、受注残高**20.6%増**

2017年3月期 第2四半期				
品目	受注高	前年同期比 増減率	受注残高	前年同期比 増減率
パッケージ	1,329百万円	47.8%	1,118百万円	54.6%
保守	671百万円	42.1%	1,738百万円	4.0%
受託開発	48百万円	21.5%	24百万円	40.8%
運用管理等	35百万円	▲52.9%	38百万円	321.9%
合計	2,085百万円	40.2%	2,919百万円	20.6%

売上高の推移(第2四半期)

当第2四半期売上高は、直近5年間で最高額

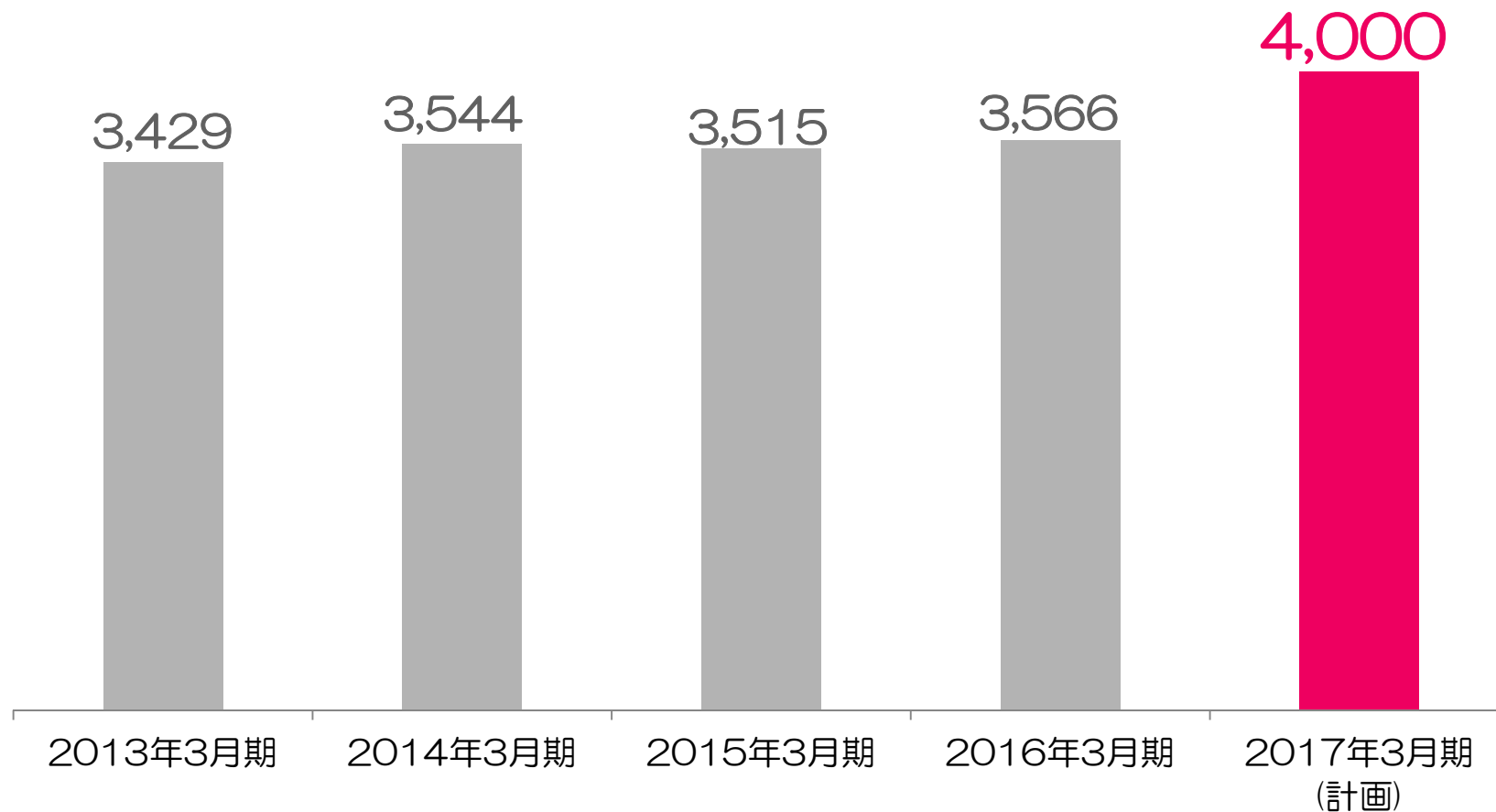
(単位：百万円)



売上高の推移(通期)

通期では過去最高となる売上高40億を見込む

(単位：百万円)

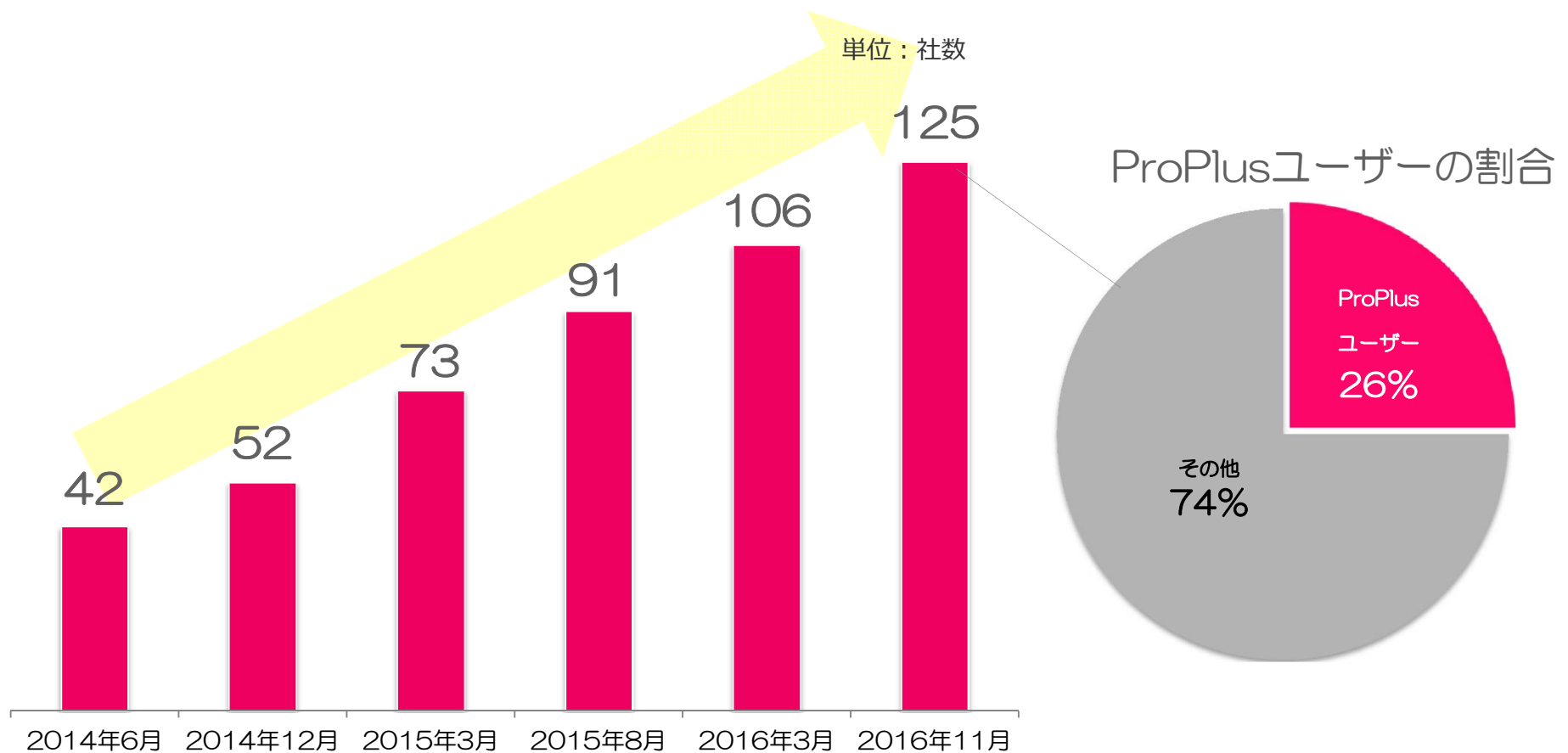


I 2017年3月期 第2四半期連結業績

II 2017年3月期 通期連結業績予想

IFRS適用社数の増加

2016年11月現在において、上場企業の125社が適用済、または適用決定と表明しており、その数は年々増加傾向にある

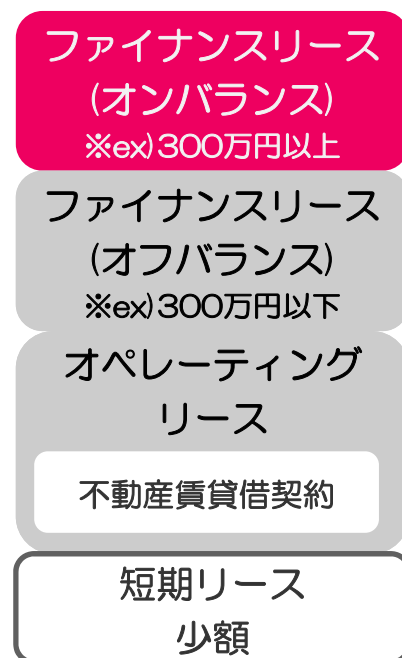


出展：東証HP IFRS適用済・適用決定会社一覧（11/24時点）

新リース会計(IFRS)による影響

IFRSリース会計の変更により、企業の管理対象となる資産件数が増大
システムの刷新検討を進める企業が増加

従来のリース会計



新リース会計



※今後はオペレーティングリースに係る支払リース料や不動産賃貸借契約に係る賃借料も単一の会計処理とし、原則オンバランス処理をする必要がある

監査法人との共催セミナー

事例から考察するIFRS16リース実践セミナー ～IFRSリースの業務/システム/監査の専門家が語る～

2016年1月に公表されたIFRS16リース会計基準について、本基準により借手リース契約は原則すべてオンバランス化される事からリースの実務やシステムにも大きな影響が想定されるため、十分な準備期間を設けた検討が必要になります。本セミナーでは有限責任あずさ監査法人様基調講演のもとIFRSリースの概要と適用に備えた実践的6つのステップを解説します。また新リースに求められるシステム要件を整理し、システム構築にあたってのポイントを解説します。

- 東京 2016年9月21日(水)※東京会場は2回開催
2016年9月29日(木)
- 名古屋 2016年9月27日(火)
- 大阪 2016年9月28日(水)

基調講演：有限責任 あずさ監査法人
主催：株式会社プロシップ



第1部 IFRS新リース基準適用にむけた実践的6つのステップ



IFRS第16号「リース」について、従来と大きく変わる借手側を中心とした会計処理や開示、実務への影響を解説します。
また、新リース基準適用にむけて必要なタスクを、あずさ監査法人が支援した事例を踏まえて、実践的6つのステップに分けて詳細に解説します。

有限責任 あずさ監査法人
アカウンティングアドバイザー
パートナー 山本 勝一 氏
マネジャー 清土 まつり 氏

第2部 IFRS新リース会計に求められるシステム要件とシステム構築のポイント



IFRS新リース会計の適用にあたり構築におけるあるべきシステム対応のポイントを説明します。
また従来のリース以外に不動産リースがオンバランス化される事によるシステム影響についても解説します。

株式会社プロシップ
FS営業本部 IFRS推進室 荻長 賢 俊介 氏

日時
会場

東京会場：
2016年9月21日(水)
2016年9月29日(木)
13:30～16:30 (13:15～受付開始)
プロシップ本社(東京都内)

名古屋会場：
2016年9月27日(火)
13:30～16:30 (13:15～受付開始)
丸の内 アレックスビル(名古屋市内)

大阪会場：
2016年9月28日(水)
13:30～16:30 (13:15～受付開始)
プロシップ西日本支社(大阪市内)

対象

□IFRS新リース会計の事例不足でお困りの方
□IFRSを適用している又は適用を検討しており、効率的・効果的なIFRS16の導入手法を知りたい方
□システム構築にあたってのポイントをみたい方

受講料

無料(定員：30名)
※満席になり次第、締め切りとさせていただきます。

申込方法

当社ホームページにて必要事項をご記入の上、お申込みください。こちらから受講票をE-mailにて送付いたします。
URL：
<https://www.proship.co.jp/cgi-bin/seminar/form/index.php>

お問い合わせ

〒112-0004 東京都文京区後楽2-3-21
TEL：03-5805-6123 / FAX：03-5805-6128
E-mail：solution@proship.co.jp
URL <http://www.proship.co.jp>

監査法人との共催セミナーを実施する他、IFRS(国際会計基準)や、グローバル、ROE等のテーマでセミナーを開催

セミナー事例

IFRS16新リース事例に学ぶ成功のポイントセミナー

米国新リース会計セミナー

IFRS新リース会計セミナー

ProPlus現物管理セミナー

ROE/ROA向上に関するセミナー

グローバル経営管理セミナー

開発生産性向上への取り組み

世界の競合に負けない高い生産性を実現

付加価値
向上

3. 付加価値向上

専門力を磨き、高付加価値領域を創る

生産性
向上

1. 集中

役割を分担し、
専門力に集中する

2. 生産性向上

専門力を磨き、
生産性を高める

2017年3月期 通期業績予想

期初の通期業績予想から変更なし

	2016年3月期 実績	2017年3月期 予想	前年同期比 増減率
売上高	3,566百万円	4,000百万円	12.1%
営業利益	1,245百万円	1,225百万円	▲1.6%
経常利益	1,250百万円	1,250百万円	▲0.0%
経常利益率	35.1%	31.3%	—
当期純利益	817百万円	822百万円	0.5%

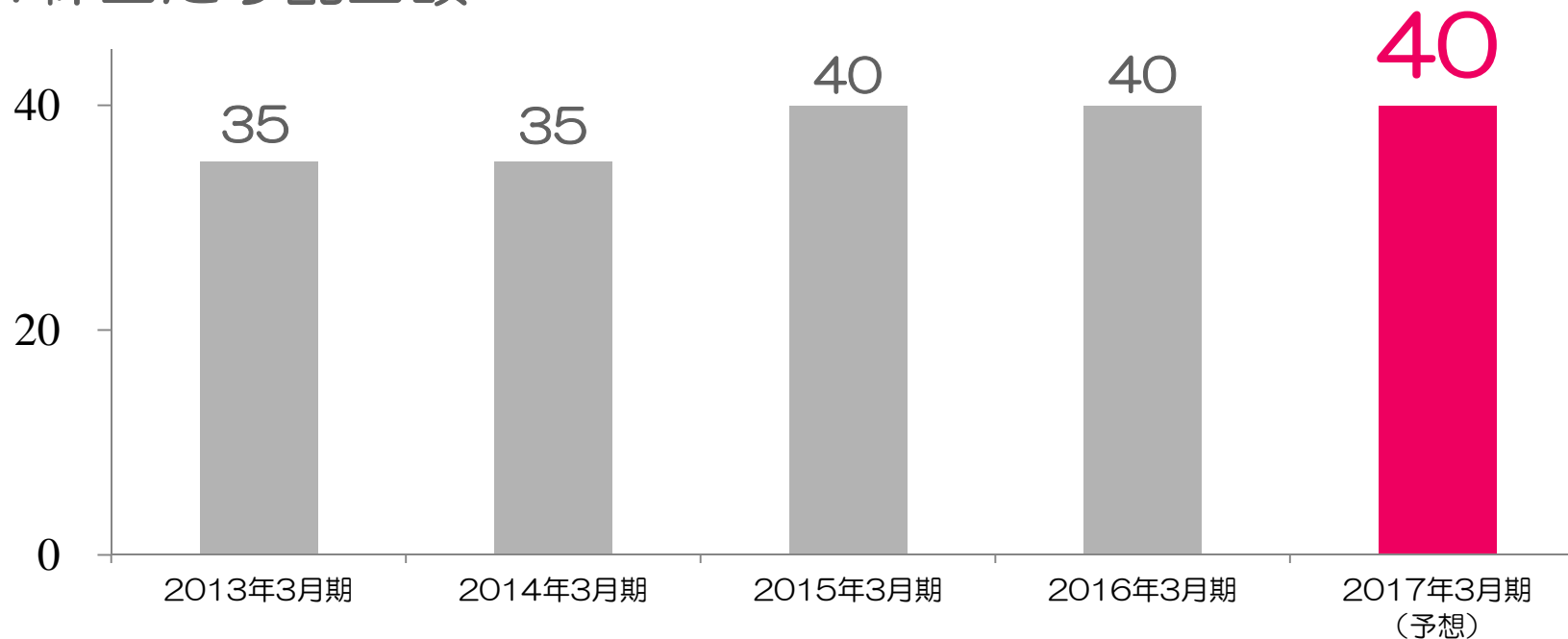
2017年3月期 配当予想

配当方針

株主還元については、自己資本の充実と収益力の向上を図るとともに、配当性向30%を基本として、積極的に株主への利益還元に取り組みます

1株当たり配当額

(単位：円)



※2015年3月期は、記念配当を含んでおります。

※2013年3月期に株式分割（1⇒2株）を行ったと仮定しております。

株主優待制度の導入のお知らせ

株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式の投資魅力を高め、当社株式を中長期的に保有していただける株主様の増加をはかることを目的に、株主優待制度を導入いたしました。

保有株式数	優待内容
1单元（100株）以上 5单元（500株）未満	クオカード1,000円分
5单元（500株）以上	クオカード2,000円分

※対象となる株主様

毎年3月末日の株主名簿に記載された、当社株式1单元（100株）以上を保有されている株主様を対象としております。

本日はありがとうございました

お問い合わせ先

株式会社プロシップ 管理本部

TEL : 03-5805-6121

Mail : kanri@proship.co.jp

HP : <http://www.proship.co.jp>

本資料に掲載されている情報のうち、今後の業績予想・見通しなどの将来に関する情報は、その時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであります。従いまして、実際の業績等は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があります。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。